

俳句の会「芦火」

☆柑蘆同人誌「芦火」第704号（十月号）表紙

- ・秋の季語：「山装ふ・山粧ふ」（やまよそおう）（三秋・地理）
- ・来月号（十一月号）の兼題です。



・秋は空気が澄んでいるので山が明るく見える。その上紅葉（黄葉）も始まりひときわ美しく見える。山は四季それぞれに美しいが、秋は特に華やかで明るく、それでいてどこか寂し気な面もある。

北宋の画家郭熙の『林泉高致』の一節「秋山明浄にして粧ふが如し」から季語になった。

<季語「山装ふ・山粧ふ」を含んだ有名俳人の句（6句）>

- ・寂寞と滝かけて山粧へり／永作火堂
- ・搾乳の朝な夕なを山粧ふ／波多野爽波
- ・三山のことに羽黒の粧へり／角川照子
- ・鳥獣のごとくたのしや秋の山／山口青邨
- ・喜べば山もしきりに粧へり／後藤夜半
- ・大由布に従ふ山も粧へる／五十嵐播水

☆前月出句の中の高得点句（5点以上）

- ・703号に出句された17名の119句のなかから互選で5点以上獲得した句5句です。
 - ・横文字の交じる短冊星祭／温州
 - ・腕白の丸くなりたる午睡かな／緑汀
 - ・箸を挿す尻艶やかに茄子の牛／穂心
 - ・極楽はこんな処か蓮開く／緑地
 - ・舞稽古ゆるりと閉ざす秋扇／穂心

<俳句の会「芦火」概要>

- ・会員は柑芦会会員
- ・現在の会員は大学3期卒から25期卒の18名
(先月より1名増加。新たに1名の方が会員になりました)
- ・昭和38年(1963年)結成・・・約60年の歴史
- ・会員の作句は通信俳句誌「柑蘆同人誌・芦火」に掲載され毎月各人に配付
- ・創刊以降毎月発刊。令和4年(2022年)6月に第700号発刊。
- ・50号ごとに句誌を発刊。令和4年5月に「芦火第14号句集」発刊
- ・創刊時からの延べ会員数、72名(高商32名、高商教授1名、大学39名)

<編集者・コンタクト先&会費、他>

- ・編集者：穂永 千秋(大学17期)(今月より編集者になりました)
メールアドレス：suishin2010@dream.ocn.ne.jp／携帯：090-9887-2513
- ・その他のコンタクト先：
 - ・山下 勝(大学14期)
(先月迄10年の長きに亘り編集者を務めて頂きました。ご苦労様でした。)
メールアドレス：yama723@nifty.com／携帯：090-1349-6727
 - ・平林 義康(大学20期)
メールアドレス：hirabayashi9497@yahoo.co.jp／携帯：090-8525-7293
- ・会費：年会費1万円

以上